

唐門（重要文化財）

大猷院の本殿エリアへの入り口で、湾曲した切妻の下には、松の木と牡丹を背景に白鶴の大きな彫刻が施されており、中国や日本の美術では長寿と幸福を象徴する組み合わせとされている。また、鶴は死後の世界との関わりもあり、死者の霊をあの世に連れて行くと言われている。その下には、青と金の波の背景に一对の白龍が描かれており、それぞれの扉には、金地に色とりどりの大きな鳳凰が描かれている。

瑞垣（重要文化財）

霊廟の内陣を囲む塀の一枚一枚には、中央の青い格子の上に鳩の彫刻が施されている。彫り物は一つ一つが個性的で、鳩の周りには、松や竹、梅など様々な縁起の良い植物が彫られている。